



第8回 MLC 世界大会 (7/23~7/30) に出席して

MLC 会長 平田 潔

新型コロナウイルスのパンデミックが収まらない中で世界大会が開かれ、平田潔と清水一男神父様（アドバイザー）が参加しました。マドリッドから車で45分ほどのグアダラマにある黙想の家が1週間お世話になる宿舎でした。

7月23日（土）に宿舎に到着、早々にPCR検査が行われ、両名とも陰性の判断になり、そのまま部屋に案内されました。ホテル並みの設備で、快適な毎日でした。

アジアからの参加国は、インド、韓国そして日本の3か国で、アジア地区

の独立について行われる投票を控えて、これまでの話し合いの結果が滞りなく認められることを願うばかりでした。投票は26日に行われ、100%の賛成で認められ、この日をもってアジア地区が一本立ちすることになりました。

『回勅 兄弟の皆さん』で示されたことを踏まえて laity としてマリアニストのカリスマを具体的な行動に高めることがこの大会のメイン

テーマで、数種類のワークショップを行い、参加者が言語、地域などに分かれて討論し、アイデアをまとめる作業を数回繰り返して、最後にまとめが提示されました。

第7回韓国大会からの成果として、20代、30代のヤングアダルトの参加が9名あり、それぞれの抱負を述べたことが印象的でした。

次の大会までの4年間、世界は予測不可能な状態が続くと予想されますが、マリアニストとして、貧困、弱者、正義などへの変わらぬ思いを持ち続けなければと、思いを新たにしました。詳しい会議の報告は後日改めて行う予定です。



▲7/28 サラゴサ巡礼
柱の聖母像（マリアニストのマント）



▲7/27 MLC 大会のまとめのセッションの光景



マリアニスト奉獻の恵み リタ 末吉偕子（シャロンの花）

マリアニストとして奉獻させて頂き、九ヶ月を迎えようとしております。奉獻後の最大の心の変化は、何時も側にいて守って下さったマリア様が、日々瞬時、私の祈りを待っていて下さる。そしてご自分の働きの力として無駄なくご利用下さっているという確信を頂けた事ではないかなと思っています。

子どもの祈りを待っていて下さる母の様に、そんな思いを強く感じる様になりました。

世界の様子に涙する時に、大切にお使い下さっているという確信を常に持っている事ではないかなと思っています。

私の安らぎではなく、マリア様の安らぎに心を合わせたいです。

*末吉偕子（ともこ）さんは2021年11月3日に奥村一美さんとともにマリアニストの奉獻をされました。

マリア会総指導者会議の簡単な報告

地区長 ヨゼフ市瀬 幸一

酷暑の日本ですが、ROMA も酷暑でした。このような中、マリア会総指導者会議がマリア会本部で開催されました。期間は、7月10日(日)から23日(土)までの2週間、実施されました。

参加者は、総本部から総長評議員会の4名と総書記、各管区の管区長・副管区長・各地区の地区長、各ZONEの議長、特別に招待された方々、及び一番大変で重要な通訳の方々です。総勢31名の会員が参加されました。

会議の内容につきましては、下記に簡単に日程とテーマを記しましたので推察して下さい。

なお、7月3日(日)～9日(土)まで、発展途上の地区の地区長やZONEの議長等の集まりが開催されました。

この間に、汚れなきマリア修道会の総会が開催されました。新総長の選挙結果が知らされ、新総長にSr. スザンナ・キムが選ばれたことが報告され、韓国地区長ドミニク・パク神父に多くの喜びの声がかりました。

■日程とテーマ

特に印象が強かったのは、7月16日(土)の午後に、男女マリア会の合同分かち合いがありました。7つのグループでの分かち合いでした。言語は、フランス語、スペイン語、英語のグループです。テーマは、「マリアニスト家族として顔」でした。多くの意見が出されました。その後、大聖堂に集合し、分かち合いの報告でした。報告は、言葉だけではなく、分かち合いをした部屋のもをシンボルとして用いて説明する事でした。様々なものが祭壇の上に並べられて分かち合いの報告がありました。

報告を聴きながら、私は、マリアニスト家族であり、マリア会という枝の一員であることを強く感じた場面でした。

| 日時 | テーマ | セッション1 9時15分開始 | セッション2 11時開始 | セッション3 15時開始 | セッション4 17時開始 |
|----------|--------------|--|-----------------|-------------------------------|-----------------|
| 7月10日(日) | 開始 | | | | FETIS 総長挨拶 |
| 7月11日(月) | 総本部員の報告 | 総長報告 | 霊生局長報告 | 教育局長報告 | 財務局長報告 |
| 7月12日(火) | ZONEの報告 | ASIAの報告 | 南米の報告 | 北米の報告 | ヨーロッパの報告 |
| 7月13日(水) | シノドスの歩み | シノドス性についての話と分科会：分科会報告 | | | |
| 7月14日(木) | マリアニスト家族について | マリアニスト家族について：他の修道会の例を聴く。他の修道会の家族としての発展の例を聴き、分科会と報告会。 | | | |
| 7月15日(金) | 霊の生活について | | | | |
| 7月16日(土) | マドレーヌ聖堂について | 午前中はマドレーヌ聖堂についてのどのような協力が出来るか。 | | 午後：女子マリア会の皆様を迎えて、分科会と報告会。懇親会。 | |
| 7月17日(日) | 休養日 | | | | |
| 7月18日(月) | 霊生局長 | 未成年者と社会的弱者の保護に関する講演会。午後から分科会と報告会。 | | | |
| 7月19日(火) | 静修日 | マリアニスト会の総長講話 | | 午後：静かに過ごす時間 | |
| 7月20日(水) | 第36回総会 | 第36回総会に向けて：FETIS 総長さまからの講話 | | | |
| 7月21日(木) | ZONE会議 | ASIA ZONE会議：具体的な日程などの確認。 | | | |
| 7月22日(金) | 第36回総会教育協定 | 第36回総会に向けての準備委員会などの具体的な話 今年10月に開催されるグローバル・コンパクトについて | | | |
| 7月23日(土) | 総まとめ | 今回の会議をまとめて終了 | | | |



■久しぶりの里帰り

有期誓願者のレ・ヴァン・シンさんが7ヶ月の予定でベトナムのヴィンに里帰りしました。

彼は、ベトナムでの志願院時代に父親の帰天に接し、2019年に母親の危篤の報に接し急遽帰国し母親の帰天に立ち会う辛い体験の後の今回の里帰りです。さまざまな思いがあったことでしょう。

7月16日、予定通りシャミナード修道院に戻り、大黙想の間に有期誓願を更新する予定で、今は黙想参加者の受け入れのための客室の準備に精を出しています。黙想の成功とシンさんの誓願更新のために皆様のお祈りの援助をお願いいたします。

暁星学園聖堂棟と修道院棟の引き渡し式

125周年記念行事の第2期工事が完了し、2022年8月5日(金)午前10時～11時30分にわたり、久米設計、施工の鹿島建設から、学校法人暁星学園と暁星修道院に、2棟の建築物の引き渡し式が関係者だけで実施されました。学園聖堂と修道院の実際的な移転作業が開始します。最終的な完了は9月初旬と考えられています。



▲シャミナードから見た暁星修道院



▲玄関(フランス語表示)



▲勝手口(日本語表示)



▲受付

シノドス～神の民として共に歩み続ける教会

アリアンス・マリアル 田中正江

現在私達カトリック教会は2021年10月から23年10月に渡って開催されている「世界代表司教会議(シノドス)第16回通常総会」(テーマ:「ともに歩む教会のためー 交わり、参加、そして宣教」)の真っ只中にあります。

以前長崎の被爆マリアが世界マリアニスト巡礼地に選ばれ、その集いに参加する為に長崎を訪れ、中町教会の朝ミサに参加した折、そのミサの後の祈りで、「シノドスの為の祈り」が捧げられました。シノドスの存在を知りつつもそこで取り上げられているテーマをバチカンニュースで知る程度で、自分の小教区でもシノドスについて耳にしたことがなかった私は、中町教会でシノドスの為に祈りが捧げられているのを知り、「長崎教区はさすが」という思いでした。そしてその後、自分の霊的指導者のイエズス会神父様に「ど

うしてイグナチオ教会ではシノドスについて触れられることがないのか。シノドスは教会全体の為に行なわれているのに、その開催に当たって私達信徒の意見を聞く姿勢がないのか」という質問をしました。指導司祭は教会に直訴するように助言されましたが、その時は何もしませんでした。心のどこかでシノドスのあり方が変わることはないと思っていました。ですから、教皇フランシスコが信徒や教会に関わる全ての人を巻き込んで時間を掛けてシノドスを開催すると告げられた時は、本当に驚きました。心に深い感動を覚えました。この度のシノドスについてはここで何かを語ることは不可能ですが(<https://www.cbcj.catholic.jp/2021/10/14/23362/>をご覧ください)、この度のシノドスは教会と共に歩んでいる人、歩もうとしている全ての人々の参加を呼びかけています、誰一人除外されることはありません。全ての人によって、全ての人の

の為に教会になるように、福音に基づいて、共に祈り、歩み、様々な困難を乗り越えながら神の国に向かって歩み続ける為に、一人でも多くの人と共にシノドスの為に祈り、関心を持たれることを心から願っています。



FMI

MAGNIFICAT Sr. マリア・ライ

“MAGNIFICAT”は「教会の祈り」の晩の祈りで福音の歌として歌われます。本当に素敵な歌です。なぜかという、世間にはたくさんのよい曲が、有名な方々によって書かれています、自分にとってこの“MAGNIFICAT”より素晴らしいものはありません。これはマリア様の神への賛美の歌です。神をたたえて心からあふれてきた歌です。とても素敵な讃美歌です。

終生誓願を準備しているわたしは、心から神様を賛美したい気持ちでいっぱいです。今までたくさんのお

恵みをいただいているわたしはなんとしあわせな人でしょう。そしてマリアニストの一員として「マリアの霊的道」をあゆみ続けたいです。マリア様と共に行くと安心です。すべての困難を乗り越えてゆき、そして神に最も近い道です。日々、生活の中で、マリア様と共に神への賛美、感謝をこのマニフィカトを通して歌い続けたいと思います。

それでは、皆様！マリア様と共に神をたたえ、このマニフィカトを歌いましょう。

マリアの歌

わたしは神をあがめ、
わたしの心は神の救いによるこびおどる。
神は卑しいはしためを顧みられ、
いつの代の人をもわたしを幸せな者と呼ぶ。
神はわたしに偉大なわざを行われた。
その名は尊く、
あわれみは代々、神を畏れ敬う人の上に。
神はその力を表し、
思い上がる者を打ち砕き、

権力をふるう者をその座から下ろし、
見捨てられた人を高められる。
飢えに苦しむ人はよいもので満たされ、
おごり暮らす者はむなしく帰る。
神はいつくしみを忘れることなく、
しもベイスラエルを助けられた。
わたしたちの祖先、
アブラハムとその子孫に約束されたように。





《いのちに奉仕するマリアの宣教者》

7月10日(日)～31日(日)於：ローマ

● 今回の総会の主なテーマは以下の通りです。

【1】教皇回勅 フランシスコの「ラウダート・シ」《ともに暮らす家を大切に》の呼びかけに答えて、マリアニストのカルスマを通して、教皇の呼びかけにどのように答えていくかの考察と、その実践への決意と方向付け。

【2】総本部メンバーの選挙と交代

代議員の選挙により、これから5年間の総本部員が選出されました。

総長：Sr.スザンナ キム (韓国)

霊生部長：Sr.プリュダンス アドキ (アフリカ)

教育部長：Sr.クロチルド フェルナンデス デルポソ (スペイン 2期目)

財務部長：Sr.ミカエラ リー ポクスン (韓国 2期目)

【3】修道会の組織の再構成

従来の管区、地区、ユニテが独立した形の構造から、総本部を中心とした一つの家族として、互いに協力と協働がしやすい柔軟性と透明性を持った組織への変更。

インターネットを、養成、会議、交流等の手段としてさらに活用する。



▲ 4枝の責任者による話

【4】マリアニスト家族として歩む

総会の第1週の終わりに、マリアニスト家族の4つの枝の責任者たちが「インテグラル・エコロジーへの移行」という課題に、それぞれのカルスマを通してどのように対応、貢献していくかについて話されました。

また、午後は、総会がSMの上長者会議と重なっていたこともあって、私たちはSMの総本部で祈りとテーマ別の分かち合い、その後、テラスでの会食…と、家族的な交わりのひと時を持ちました。

様々な課題を抱えながらも、家族と共に歩む喜びと希望が与えられました。



▲マリア会総本部のテラスでの会食風景

誓願 50周年を迎えるにあたって Sr.マリア アスンタ伊藤 昌子

誓願 50周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返ってみました。

一言であらわすならば「マリアに導かれマリアと共に歩ませていただいた半世紀」であり、神の愛と慈しみの歴史であったと思います。マリアニストの召命を与えてくださり共同体に呼んでくださった神に感謝し、この召命を共に生きてくださった先輩方、そして今、置かれている場でマリアの使徒として精一杯ご自分をささげておられる姉妹の皆様に心より感謝申し上げます。

私にとって最も大きな困難は修道生活への召命を感じた頃、二人姉妹

の長女として育てられた私は、家を出て生涯神に自分をささげることは到底不可能なことと思われ悩み苦しんでいた時に、マリアに告げられた「神にとって不可能なことは何もありません。」という神の御使いの言葉を信じ、ひたすら神のみ旨の実現を希望し、今までどれ程このみ言葉に支えられたかわかりません。

マリアの“Fiat”の態度と“彼の言う通りにしてください。”というマリアの勧めに従わせてくださいと願いながら、今日まで歩ませていただいたつもりですが、まだまだマリアの生き方にほど遠い私のためにこれからもどうぞお祈りで助けてください。



◎ MLC からのお知らせ

MLCとしてのホームページがあります。

スマホのスタイルで手軽に見ることができます。

URL: <https://www.cafemlc.org>

ホーム (MLCの年間目標、チャレンジ目標、養成プログラム…)

お知らせ、マリアニストの祈り、ブログ、動画

などがご覧になれます。

MLCを紹介するときなどに、ご活用ください。



■発行：日本マリアニスト家族評議会

問い合わせメール：marianist.japan@gmail.com

ホームページ：<https://www.marianist.jp/>